平成27年度第8回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 28 年 2 月 15 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、浅野、家崎、牧野、坂(敬略称、順不同)
	新規研究計画の審議
申請者	森 順平
研究名	回復期入院患者におけるストレス及び不安認知の要因の推移的変化
研究内容	入院患者の4割以上が抑うつ傾向であるが、精神的健康状態が表面化することは少な
要旨	い。そこで、入院患者の精神面に着目し、入院患者のストレス及び不安認知の原因を追究しストレスが与える生活への意欲の変化と機能的自立度評価表との相関を検討し、患者の入院初期、中間期、退院期での患者の心理的な変化を解明し、今後より良いリハビリテーションが行なえるように研究の経過と結果を報告する。
審議結果	承認
意見	研究対象者に精神的負担が生じる可能性があるとしても、その程度は軽いと考え、実施を承認した。
新規研究計画の審議	
申請者	野口 佑太
研究名	透析患者における栄養状態の経時的変化
研究内容	作業療法の対象となっている透析患者の栄養状態について、1年間の経過を後ろ向き
要旨	に調査し、リハビリテーションを実施していくうえで重要な健康状態について検討してい
安日	きたい。
審議結果	承認
意見	書類審議の結果、承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	名久井 順子
研究名	老健でのターミナルケアを導入して
研究内容 要旨	在宅復帰を目的とした施設である老健が、来る2025年問題を前にターミナルケアの導入が余儀なくされた。老健で看取る為には何が必要か、対象の利用者・家族様が満足いく見取りが出来る様にどのようにケアしたら良いかを明らかにし、今後のケアにいかしていく。
審議結果	承認
意見	書類審議の結果、承認とした。
	新規研究計画の審議
申請者	星野 賢一郎
研究名	ノロウィルスの健康被害に関する研究(ノロウィルスの遺伝子型解析)
研究内容 要旨	感染性胃腸炎の疑われる患者で、便中ノロウィルス抗原検査を提出した際に、検査後に残った便検体を用いて、ノロウィルスの遺伝子型解析を行なう。
審議結果	
意見	書類審議の結果、承認とした。
参考	本研究は他の研究機関と共同して実施される研究であり、すでに研究の全体について共同研究機関である国立感染症研究所および国立病院機関三重病院において倫理審査委員会の審査を受け、実施について適当である旨の意見を得ている。